令和７年２月２１日
大東市総合計画・総合戦略審議会
資料１

# 「幸せデザイン 大東」の振り返り

（令和３年度～令和６年度）

・第５次大東市総合計画

・第２期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略

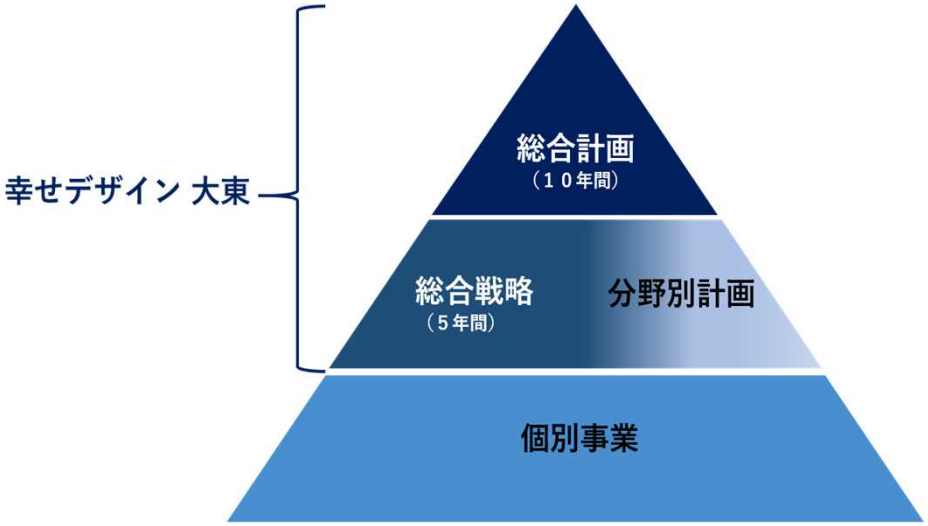
大東市

# 「幸せデザイン 大東」の振り返り

## Ⅰ．「幸せデザイン 大東」の概要

○　「**総合計画**」と「**総合戦略**」を**一体化し**「**幸せデザイン 大東**」として定め、各種取組を進めている。

○　計画期間は、「**総合計画**」 **は10年間、**「**総合戦略**」**は5年間**である。




**【計画期間】**

| | 令和3（2021）年度 | 令和４（2022）年度 | 令和５（2023）年度 | 令和６（2024）年度 | 令和７（2025）年度 | 令和８（2026）年度 | 令和９（2027）年度 | 令和10（2028）年度 | 令和11（2029）年度 | 令和12（2030）年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合計画 | 第５次大東市総合計画 | | | | | | | | | |
| 総合戦略 | 第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略 | | | | | | | | | |

## Ⅱ．「第５次大東市総合計画」の概要

「**総合計画**」は、計画的な市政運営を行うことを目的として、まちづくりの理念と方向性を示したものである。

**まちづくりの理念・・・あふれる笑顔　幸せのまち大東づくり**

■ 民間の創意工夫と公の取組みとの連携によってまちの価値に相乗効果を生み出す
**「体質の改善」**

■ 自分たちのまちを自分たちで創りあげる
**「体力の強化」**

■ ＩＣＴ※などの技術を有効に活用しながらさらなる挑戦を続ける
**「能力の開発」**　を進めることにより、

**あふれる笑顔で日々を過ごし、幸せを享受できるまちであり続けていく**

「あふれる笑顔　幸せのまち大東づくり」を理念としてまちづくりを進める道筋において、１０年後（令和１２年度・２０３０年度）のまちは、社会情勢の変化等にも柔軟かつ迅速に対応することで、**「安心・信頼」がさらに強固な土台**として築かれており、その上に**「希望・喜び」が実感できる**まちになっていることをめざす。

**＜政策の視点＞**

**①まちの土台の強化**
～基本的人権の尊重、安心・快適・健康などの住民福祉のさらなる増進、財政基盤の強化につながるものか～

**②まちの付加価値の創出**
～大東が有する特性や特長を、多様な主体や手法によって磨き上げ、まちの付加価値を創出するものか～

# Ⅲ．「第５次大東市総合計画」の振り返り

**<評価の考え方>**
☆☆☆：令和６年度（または把握できる最新値）の値が、目標値を達成。☆☆：目標値は達成していないが、計画策定時と令和６年度（または把握できる最新値）を比較して、改善・増加した。☆：計画策定時から改善・増加していない。★：計画策定時より低下している。

## 基本目標

**【目標達成状況】**

- 市民の大東に対する「満足度」は、計画策定時より低い値を推移し、目標を達成していない
- 市民の大東に対する「将来への期待度」は、計画策定時より低い値を推移し、目標を達成していない
- 平均寿命、健康寿命はコロナ禍により一時停滞したが、平均寿命の延びをわずかに上回り、目標を達成している
- 市民の経済力は府平均以下が続き、目標を達成していない
- 人口は社会減が続いていたが、令和６年度に初めて社会増に転じた。一方、出生数の減少と死亡数の増加が進み、自然減が続き、一部目標を達成している
- 高齢化率は計画策定時からわずかに増加するも、２７％台を維持し、目標を達成している

| 指標 | 計画策定時 | 令和3年度（2021年度） | 令和4年度（2022年度） | 令和5年度（2023年度） | 令和6年度（2024年度） | 評価 | 令和12年度（2030年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大東に対する満足度の向上 | 63.1%<br>令和2（2020）年度 | 55.4%<br>（目標64.8%） | 50.3%<br>（目標66.5%） | 55.5%<br>（目標68.2%） | 53.7%<br>（目標69.9%） | ★ | 80% |
| | 実績 | | | | | | 最終目標 |

| 指標 | 計画策定時 | 令和3年度（2021年度） | 令和4年度（2022年度） | 令和5年度（2023年度） | 令和6年度（2024年度） | 評価 | 令和12年度（2030年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大東の将来への期待度の向上 | 72.4%<br>令和2（2020）年度 | 56.2%<br>（目標74.2%） | 51.3%<br>（目標75.9%） | 56.1%<br>（目標77.7%） | 55.7%<br>（目標79.4%） | ★ | 90% |
| | 実績 | | | | | | 最終目標 |

| 指標 | | 計画策定時 | 令和2年（2020年） | 令和3年（2021年） | 令和4年（2022年） | 令和5年（2023年） | 令和6年（2024年） | 評価 | 令和12年（2030年） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **健康寿命の延伸** | 平均寿命 | 男性：80.0歳<br>女性：86.4歳<br>平成27（2015）年 | 男性：80.5歳<br>女性：87.2歳 | 男性：80.7歳<br>女性：87.6歳 | 男性：80.7歳<br>女性：87.5歳 | ー | ー | ☆☆☆ | 平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸 |
| | 健康寿命 | 男性：77.99歳<br>女性：82.22歳<br>平成27（2015）年 | 男性：79.1歳<br>女性：82.9歳 | 男性：78.9歳<br>女性：83.7歳 | 男性：78.9歳<br>女性：83.6歳 | | | | |
| | | 実績 | | | | | | | 最終目標 |

| 指標 | 計画策定時 | 令和2年（2020年） | 令和3年（2021年） | 令和4年（2022年） | 令和5年（2023年） | 令和6年（2024年） | 評価 | 令和12年（2030年） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **市民の経済力の向上** | 課税対象所得府平均以下<br>平成29（2017）年 | 府平均以下 | 府平均以下 | 府平均以下 | 府平均以下 | ー | ☆ | 府平均以上 |
| | 実績 | | | | | | | 最終目標 |

| 指標 | 計画策定時 | 令和3年（2021年） | 令和4年（2022年） | 令和5年（2023年） | 令和6年（2024年） | 評価 | 令和12年度（2030年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **人口構成バランスの適正化** | 社会減<br>自然減<br>令和2（2020）年 | 社会減<br>自然減 | 社会減<br>自然減 | 社会減<br>自然減 | 社会増<br>自然減 | ☆☆ | 社会増<br>自然増 |
| | 実績（各年1月～12月） | | | | | | 最終目標 |

| 指標 | 計画策定時 | 令和2年度（2020年度） | 令和3年度（2021年度） | 令和4年度（2022年度） | 令和5年度（2023年度） | 令和6年度（2024年度） | 評価 | 令和12年度（2030年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **人口構成バランスの適正化** | 高齢化率<br>27.12% | 27.33% | 27.48% | 27.48% | 27.52% | 27.45% | ☆<br>☆<br>☆ | 25～27%台維持 |
| | 実績（各年度3月末） | | | | | 実績（R6.12末時点） | | 最終目標 |

# Ⅳ．第２期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

「**総合戦略**」は総合計画に掲げる理念と方向性に基づき取り組む、「まち」「ひと」「しごと」の３分野において、７つの重点分野を定め、それぞれの重要施策を示している。

総合戦略の取組みの方向性

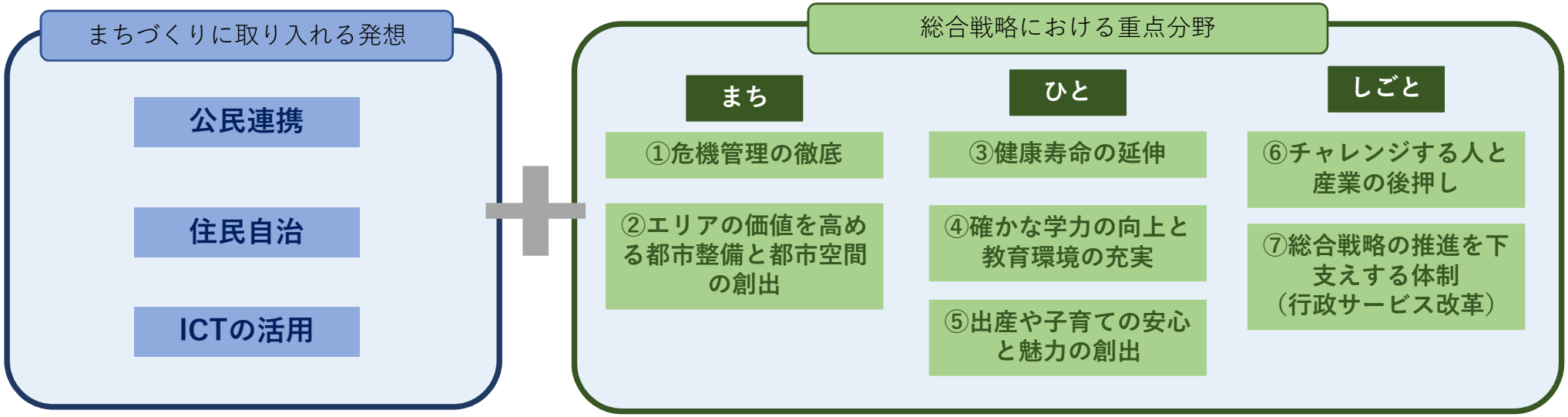
**多様な関わり　によって**

**◆子育て世代に響く取組み　◆市内外に大東ファンを増やす取組み　を行い、**

**まちの土台の強化と、まちの付加価値の創出 を図る**

都市基盤・生活基盤・財政基盤の強化　　大東独自の資源と人と技術を掛け合わせた魅力の創出

**【総合戦略の重点分野と各取組において考慮すべき要素】**



# Ⅴ．「第２期総合戦略」の各重点分野の振り返り

**＜評価の考え方＞**
☆☆☆：令和６年度（または把握できる最新値）の値が、目標値を達成。☆☆：目標値は達成していないが、計画策定時と令和６年度（または把握できる最新値）を比較して、改善・増加した。☆：計画策定時から改善・増加していない。★：計画策定時より低下している。

## ①危機管理の徹底

**【具体的施策】**
（１）シミュレーションの徹底
（２）減災の推進
（３）災害時における安心の確保

**【取組状況】**
・地域防災計画の改訂や総合防災マップの刷新を行うとともに、防災システム及びアプリの構築・導入、他市町村や企業との連携協定の締結、備蓄倉庫の設置、ペット同行避難等を実施し、災害対応に向けた体制を強化

・災害時支援用のバンダナの作成・配付、体育館へのエアコン設置、感染症対策やプライベート空間の確保に向けたパーテーションの整備等を行い、避難所環境を充実

・消防団へのIP無線機の配布及び、防災行政無線の不感地帯の住民に対し、個別受信機を配布するなど、連絡・通信手段を拡充

・コロナ禍において、感染状況及び感染症予防対策や、風水害時の避難に関する動画の配信を行うなど、情報発信を強化

## 【目標達成状況】

・市民の「まちの安全・安心に対する満足度」は、令和３年度はKPIを達成し、その後も増加が続いていたが、KPIは達成していない

| KPI | 計画策定時 | 令和3年度（2021年度） | 令和4年度（2022年度） | 令和5年度（2023年度） | 令和6年度（2024年度） | 評価 | 令和7年度（2025年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **住宅の耐震化** | 80％<br>平成27（2015）年度 | ―<br>（目標83％） | ―<br>（目標86％） | ―<br>（目標92％） | ―<br>（目標93.5％） | ― | 95％ |
| **「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度** | 24.7％<br>令和2（2020）年度 | 35.6％<br>（目標30.6％） | 36.1％<br>（目標36.4％） | 39.3％<br>（目標42.3％） | 34.5％<br>（目標48.1％） | ☆☆ | 54％ |
| | 実績 | | | | | | 最終目標 |

## ②エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出

**【具体的施策】**

（１）都市構造の改革
（２）コンパクトシティの形成
（３）老朽施設の再編にあわせたエリア再生
（４）都市空間の活用
（５）未来につなぐ環境づくり
（６）まちに対する市民の愛着の醸成
（７）ブランディングの強化と発信力の向上

**【取組状況】**

・公民連携の先駆けとなったmorinekiエリアのまちびらきや、普通財産等の活用に向けた民間提案制度を実施するなど、民間の力を活用してエリア価値を向上

・住道駅前デッキ基本計画を策定するとともに、住道駅周辺等のエリア価値の向上や地域活性化に向けて「住道駅周辺等活性化応援団」を認定するなど、公共空間を活用して賑わいを創出

・市民に対する情報発信を強化を図るLINEの導入や、市内大学・小中学校と連携した魅力発信、ブランドブックを制作・配布、JR西日本とタイアップしたポスターを制作し、近畿エリア主要駅に掲示、PR専門家やデザイナーを活用して職員のスキルアップをめざすなど、PR体制を強化

・フードドライブや、段ボールコンポストを活用した食品ロス対策、粗大ごみの有料化、ペットボトルの水平リサイクル、民間企業と連携した環境講座の実施など、環境にやさしいまちづくりを推進

・国史跡に指定された「飯盛城跡」の３DCGアプリや、VRゴーグル、記念御城印、御城印帳、記念動画等の制作、飯盛城跡への案内標識の設置、周遊型イベントの実施など、継続的なPR及びアクセス環境を整備

## 【目標達成状況】

・住道駅周辺の地価は、令和7年度の最終目標値を令和５年度に既に達成している。四条畷駅周辺の地価は、計画策定時より上昇したが、KPIは達成していない。野崎駅周辺の地価は、計画策定時の値が続いており、KPIは達成していない
・「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」と感じる人の割合は、計画策定時より増加したが、低い値で推移し、KPIを達成していない
・「住みたい自治体ランキング」は、令和３年度に初めてランクインするも、それ以外はランク外が続き、KPIを達成していない

| KPI | | 計画策定時 | 令和3年度（2021年度） | 令和4年度（2022年度） | 令和5年度（2023年度） | 令和6年度（2024年度） | 評価 | 令和7年度（2025年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **駅前の地価の上昇** | 四条畷駅 | 18万円 | 18万円（目標18.2万円） | 18万円（目標18.4万円） | 18万円（目標18.6万円） | 18.5万円（目標18.8万円） | ☆☆ | 19万円 |
| | 野崎駅 | 16万円 | 16万円（目標16.2万円） | 16万円（目標16.3万円） | 16万円（目標16.5万円） | 16万円（目標16.6万円） | ☆ | 16.8万円 |
| | 住道駅 | 25万円 令和2(2020)年分 | 25万円（目標25.1万円） 令和3(2021)年分 | 25万円（目標25.2万円） 令和4(2022)年分 | 25.5万円（目標25.3万円） 令和5(2023)年分 | 27万円（目標25.4万円） 令和5(2023)年分 | ☆☆☆ | 25.5万円 |
| **「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度** | | 15.4％ 令和2年（2020）年度 | 16.6％（目標18.7％） | 15.3％（目標22.0％） | 19.1％（目標25.4％） | 17.0％（目標28.7％） | ☆☆ | 32％ |
| **住みたい自治体ランキング** | | ランク外 令和2年（2020）年度 | 86位 | ランク外 | ランク外 | ランク外 | ☆ | 30位以内 |
| | | 実績 | | | | | | 最終目標 |

## ③健康寿命の延伸

**【具体的施策】**

（１）全世代健康づくりの推進
（２）社会参画による生きがいづくり
（３）高齢者を支え合う環境づくり

**【取組状況】**

・各種がん健診の無償化やハイリスク者への個別的な受診推奨案内など、受診しやすい体制を構築するとともに、検診結果をマイナポータルで閲覧できる環境を整備

・地域包括支援センターとつながるテレビ電話を包括支援センターを含む市内７カ所に設置し、介護、医療、福祉等の専門職との相談体制を充実

・一人暮らしの高齢者を対象としたハローライト事業や認知症高齢者の迷い人対策としたGPS発信機能付きIoT機器購入費助成、みまもりあいステッカーの無料配布を実施するなど、ICTを活用した見守り事業を推進

・スマートフォン等を活用したウォーキングイベントやeスポーツ等の実施など、心と体の健康づくりを推進

・元気でまっせ体操や介護予防相談会の実施に合わせて、会場での体力測定やフレイルチェック、健康教育、健康相談などを行い、健康に対する意識を促進

・健康・生きがい就労トライアルや生活サポーター活動等により、高齢者の生きがいや健康づくりを推進するとともに、66歳地域デビュー等により交流やさらなる地域活動への意欲を促進

## 【目標達成状況】

・平均寿命、健康寿命はコロナ禍により一時停滞したが、平均寿命の延びをわずかに上回り、目標を達成している（再掲）
・特定健康診査受診率は、計画策定時から増加しているが、KPIは達成していない
・「主観的な健康感」は、計画策定時から減少し、KPIは達成していない

| KPI | | 計画策定時 | 令和2年度（2020年度） | 令和3年度（2021年度） | 令和4年度（2022年度） | 令和5年度（2023年度） | 令和6年度（2024年度） | 評価 | 令和7年度（2025年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 健康寿命の延伸 | 平均寿命 | 男性：80.0歳<br>女性：86.4歳<br>平成27（2015）年 | 男性：80.5歳<br>女性：87.2歳<br>令和2（2020）年 | 男性：80.7歳<br>女性：87.6歳<br>令和3（2021）年 | 男性：80.7歳<br>女性：87.5歳<br>令和4（2022）年 | ― | ― | ☆<br>☆<br>☆ | 平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸 |
| | 健康寿命 | 男性：77.99歳<br>女性：82.22歳<br>平成27（2015）年 | 男性：79.1歳<br>女性：82.9歳<br>令和元（2019）年 | 男性：78.9歳<br>女性：83.7歳<br>令和3（2021）年 | 男性：78.9歳<br>女性：83.6歳<br>令和4（2022）年 | | | | |
| 特定健康診査受診率 | | 28.7%<br>令和元（2019）年度 | 30.3% | 31.2%<br>（目標33.5%） | 31.8%<br>（目標33.8%） | 31.7%<br>（目標34.1%） | 10.0%<br>（目標34.4%）<br>※R6.11月時点 | ☆<br>☆ | 34.7% |
| 主観的な健康感 | | 75.7%<br>令和元(2019)年度 | ― | ―<br>（目標79.2%） | 73.5%<br>（目標80.9%） | ―<br>（目標82.6%） | ―<br>（目標84.3%） | ★ | 86% |
| | | 実績 | | | | | | | 最終目標 |

## ④確かな学力の向上と教育環境の充実

**【具体的施策】**

（１）学力の向上
（２）学校・家庭・地域の担い分けと連携
（３）次代を見据えた、新しい教育の実施
（４）多様な教育機会の創出
（５）学校施設・設備等の安全性の構築
（６）生涯学べる環境の整備

**【取組状況】**

・１人１台端末を配布し、AI型デジタルドリルやプログラミング学習教材を導入するなど、デジタルを活用した個別最適な学びを推進

・すべての子どもたちが学びにアクセスできるよう、ICTによる学習支援や居場所づくり、充実した相談体制等、様々な支援策を多層的に提供し、個別最適な教育環境を強化

・民間企業と連携して各家庭のニーズに合わせた家庭教育支援「企業版いくカフェ」を行い、子どもの健やかな育ちの基盤である家庭の教育力向上を促進

・教育支援センター「ボイス」を学校内にも設置することで、教室に行きたくても行けない児童生徒に向けて、学校等への復帰や将来的な社会的自立を支援

・休日部活動の地域移行を行い、高校や大学、地域等と連携したより質の高い部活動を実現

・小中一貫教育の推進のため、「（仮称）大東市立ほうじょう学園」設置に向けた取組を実施

## 【目標達成状況】

・全国学力・学習状況調査の標準化得点の標準化得点は、計画策定時を大きく下回ることなく維持しているが、KPIは達成していない
・「学校に行くのは楽しい」と感じる児童・生徒の割合は、小学校は計画策定時を上回る年度はあったが、KPIを達成していない。中学校は計画策定時を上回ったが、KPIは達成していない

・学びにアクセスできていない児童・生徒数は、指標（算定基準）の変更に伴い評価不能

| KPI | | 計画策定時 | 令和2年度（2020年度） | 令和3年度（2021年度） | 令和4年度（2022年度） | 令和5年度（2023年度） | 令和6年度（2024年度） | 評価 | 令和7年度（2025年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **全国学力・学習状況調査の標準化得点** ※1 | 小：国語 | 98 | ― | 98 | 98 | 98 | 97 | ★ | 100以上 |
| | 小：算数 | 99 | ― | 98 | 99 | 98 | 99 | ☆ | |
| | 中：国語 | 98 | ― | 98 | 99 | 98 | 98 | ☆ | |
| | 中：数学 | 97<br>令和元（2019）年度 | ― | 98 | 98 | 98 | 97 | ☆ | |
| **不登校児童・生徒数** | | 17.8‰<br>（千人率） | 24.2‰<br>（千人率） | 27.1‰<br>（千人率） | 261人※2<br>（学びにアクセスできていない人数） | 92人※3<br>（学びにアクセスできていない人数） | 集計中<br>（学びにアクセスできていない人数） | ― | 0人 |
| **「学校に行くのは楽しい」と感じる児童・生徒の割合** | 小学校 | 79.8%<br>全国85.8% | ― | 76.7%<br>全国83.4% | 81.5%<br>全国85.4% | 80.5%<br>全国85.3% | 76.9%<br>全国84.8% | ★ | 国平均以上 |
| | 中学校 | 75.0%<br>全国81.9%<br>令和元（2019）年度 | ― | 75.0%<br>全国81.1% | 74.2%<br>全国82.9% | 74.5%<br>全国81.8% | 79.5%<br>全国83.8% | ☆☆ | |
| | | 実績 | | | | | | | 最終目標 |

※１　各年度の調査における全国の平均正答数を１００とした場合の比較得点
※２　令和４年度から不登校児童・生徒数から不登校児童・生徒のうち学びにアクセスできていない人数に変更。令和４年度、学びにアクセスできていない人数は、不登校児童生徒のうち欠席した日を「出席扱い（教育支援センター「ボイス」への登所や自宅においてＩＣＴ等を活用した学習活動を行った場合など）」としていない児童生徒数
※３　令和５年度より学びにアクセスできていない人数は、不登校児童生徒のうち「出席扱い」の有無に関わらず、広く学びにアクセスできていると判断できない児童生徒数

## ⑤出産や子育ての安心と魅力の創出

**【具体的施策】**

（１）個々の価値観に応じた出産・子育ての希望の実現
（２）仕事も子育ても介護もチャレンジできる環境づくり
（３）子どもの成長を促す環境の整備
（４）安全・安心の子育て環境づくり

**【取組状況】**

・不育症の検査・治療の助成、保健師による早期産婦家庭訪問、産後ケア事業、新生児聴覚検査等の実施、ネウボランドだいとうにスクールソーシャルワーカーを設置するなど、妊娠前から切れ目のない子育て環境を充実

・障害児や配慮が必要な子育て家庭の状況に対応した交流の場の提供や、相談・援助、講習を実施するなど、ネウボランドだいとうの機能を拡充

・子育てアプリを利用した情報発信、Zoomを活用した相談の実施、家庭等の状況に応じた交流の場の提供や、相談・援助、講習等を実施するなど、オンラインとリアルの両面からのアプローチを実施

・北条幼稚園と北条保育所を統合して、幼保連携型認定こども園の「北条こども園」を開園し、保育体制を充実

## 【目標達成状況】

・年間出生数は、令和５年度にわずかに増加するも、計画策定時の数値を下回って推移しており、KPIは達成していない
・若年者層の社会減は、近年改善傾向にあるものの、計画策定時を上回る数値で推移し、KPIを達成していない
・市民の「子育て環境が充実した子育てしやすいまち」と感じる人の割合は、計画策定時より増加したが、低い値で推移し、KPIは達成していない

| KPI | 計画策定時 | 令和2年度（2020年度） | 令和3年度（2021年度） | 令和4年度（2022年度） | 令和5年度（2023年度） | 令和6年度（2024年度） | 評価 | 令和7年度（2025年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **年間出生数** | 809人<br>令和元（2019）年 | 799人<br>令和2（2020）年 | 780人<br>（目標839人）<br>令和3（2021）年 | 724人<br>（目標887人）<br>令和4（2022）年 | 727人<br>（目標920人）<br>令和5（2023）年 | 661人<br>（目標960人）<br>令和6（2024）年 | ★ | 1000人 |
| **若年者層（0～14歳/20～44歳）の社会増減** | ▲164人<br>令和元（2019）年 | ▲404人<br>令和2（2020）年 | ▲428人<br>令和3（2021）年 | ▲263人<br>令和4（2022）年 | ▲326人<br>令和5（2023）年 | 集計中 | ★ | 社会増 |
| **「子育て環境が充実した子育てしやすいまち」と感じる人の割合** | 19.2% | | 20.4%<br>（目標26.6%） | 19.0%<br>（目標33.9%） | 24.3%<br>（目標41.3%） | 22.7%<br>（目標48.6%） | ☆<br>☆ | 56% |
| | 実績 | | | | | | | 最終目標 |

## ⑥チャレンジする人と産業の後押し

**【具体的施策】**

（１）産業の基盤強化
（２）新しい生活様式や産業構造の変化を捉えたチャレンジ支援
（３）いきいきと活躍できる場づくり

**【取組状況】**

・近隣高校との連携、市内企業の合同入社式等の実施など、市内企業への就職・定着を促進

・だいとう産業活性化協議会と近隣高校で連携協定を締結し、多様な人材の育成及び地元企業の認知度を向上

・大東ビジネス創造センター「D-Biz」が中心となって、創業・起業に向けた支援を強化

・障害者の雇用の促進に向けて農園運営を行うための協定の締結や、働く意欲のある高齢者と介護サービスの担い手不足で悩む事業者とのマッチングを実施するなど、多様な雇用を推進

・企業同士の交流の促進や、企業イメージの向上につながる地域一体型のFactorISMや大東まちゼミを実施し、新たなビジネス機会の創出と商業活性化を推進

## 【目標達成状況】

・地域相談所からの就職件数は、近年増加傾向にあるものの計画策定時より下回って推移し、KPIを達成していない
・全産業の付加価値額は、大阪府の減少率よりは良いものの、KPIを達成していない
・創業者件数は、目標値を大きく上回り、KPIを達成している
・市民の「産業（商業・工業など）が元気な活力のあるまち」と感じる人の割合は、計画策定時より改善が見られるものの低い値で推移し、KPIは達成していない

| KPI | 計画策定時 | 令和2年度（2020年度） | 令和3年度（2021年度） | 令和4年度（2022年度） | 令和5年度（2023年度） | 令和6年度（2024年度） | 評価 | 令和7年度（2025年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **地域職業相談室からの就職件数** | 897件<br>令和元（2019）年度 | 678件 | 753件<br>（目標783件） | 762件<br>（目標888件） | 797件<br>（目標991件） | 539件<br>（目標1,096件）<br>※R6.12月末時点 | ★ | 1,200件 |
| **全産業の付加価値額（万円/事業従事者1人あたり）** | 458万円<br>大阪府：585万円<br>平成28（2016）年 | ― | 450万円<br>大阪府：562万円 | ― | ― | ― | ★ | 大阪府付加価値額以上 |
| **創業者件数** | 42件<br>令和元（2019）年度 | 43件 | 53件<br>（目標45件） | 74件<br>（目標47件） | 81件<br>（目標47件） | 22件<br>（目標49件）<br>※R6.12月末時点 | ☆<br>☆<br>☆ | 50件 |
| **「産業（商業・工業など）が元気な活力のあるまち」と感じる人の割合** | 15％ | | 20.3％<br>（目標22％） | 17.6％<br>（目標29％） | 22.4％<br>（目標36％） | 20.9％<br>（目標43％） | ☆<br>☆ | 50％ |
| | 実績 | | | | | | | 最終目標 |

## ⑦総合戦略の推進を下支えする体制　～行政サービス改革～

**【具体的施策】**

（１）行政サービスの充実
（２）市役所業務の効率化
（３）一人ひとりのパフォーマンスと市民サービスの向上に資する職員の働き方改革
（４）財政運営の基盤強化
（５）広域連携の推進

**【取組状況】**

・電子申請システムの導入をはじめとする各種手続きのオンライン化や、キャッシュレス決済の導入、市民課窓口の受付予約等、ICTを活用した行政サービスを充実

・文書管理・電子決裁システムの構築・導入、オンライン会議システム、議事録文字起こしツール、公共料金一括口座振替サービスの導入、テレワークの試行実施など、事務手続きの効率化及び柔軟な働き方を実現

・全庁的なプロジェクトや緊急の事業について、横断的な事務の従事や事務応援を行うなど、状況に応じた体制を構築

・職員の不妊治療のための特別休暇の創設や、育児休業の分割取得回数を増加するなど、育児休業を取得しやすい環境を推進

## 【目標達成状況】

・経常収支比率は、計画策定時の数値より改善し、１００を下回って推移しているが、KPIを達成していない
・計画策定時から将来負担なしを維持しており、KPIを達成している
・手続きのオンライン化率は、順調にオンライン化が進んでいるが、KPIを達成していない
・市民の「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合は、計画策定時より増加傾向にあるが、KPIは達成していない

| KPI | 計画策定時 | 令和2年度（2020年度） | 令和3年度（2021年度） | 令和4年度（2022年度） | 令和5年度（2023年度） | 令和6年度（2024年度） | 評価 | 令和7年度（2025年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **経常収支比率の改善（フロー）** | 103.1%<br>大阪府平均96.7%<br>令和元（2019）年度 | 99.0%<br>大阪府平均<br>95.7% | 98.9%<br>大阪府平均<br>92.0% | 97.2%<br>大阪府平均<br>94.5% | 99.6%<br>大阪府<br>平均94.4% | 集計中 | ☆<br>☆ | 大阪府<br>平均以下 |
| **将来負担比率の維持（ストック）** | 将来負担なし<br>令和元（2019）年度 | 将来負担なし | 将来負担なし | 将来負担なし | 将来負担なし | 集計中 | ☆<br>☆<br>☆ | 「将来負担なし」を維持 |
| **地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続きのオンライン化率（本市にかかるもの）** | 12.8% | | 12.8%<br>（目標26.4%） | 55.2%<br>（目標51%） | 58.6%<br>（目標60%） | 61.0%<br>（目標70%）<br>※R7.1月末時点 | ☆<br>☆ | 81% |
| **「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合** | 16.7% | | 23.8%<br>（目標24.4%） | 20.5%<br>（目標32.0%） | 29.6%<br>（目標39.7 %） | 29.5%<br>（目標47.3%） | ☆<br>☆ | 55% |
| | 実績 | | | | | | | 最終目標 |